

## 第1回河南町総合計画審議会会議録

日時：平成21年5月26日

午前10:00～午前11:45

場所：河南町役場4階大会議室南

### 〈出席委員〉

廣谷委員、小山委員、中川委員、田中委員、北村委員、原田委員、寺西委員、宮本委員、  
笥委員、林委員、戎谷委員、村上委員、槇野委員、柴田委員、松井委員、大門委員、瀧委  
員、中山委員、内田委員、辻井委員、谷口委員、平委員、駒崎委員、堀井委員

### 〈事務局〉

総務部：大橋総務部長、森田企画財政課長、奥野企画財政課長補佐、和田企画係長  
総合政策担当：新田総合政策担当理事、中海主査、藤井

事務局大橋：大変長らくお待たせいたしました。皆さまお揃いいただきましたようですので、  
ただいまから河南町総合計画審議会を開催させていただきます。

私は、この審議会の事務局を預かります総務部長の大橋でございます。

会長が選出されますまでの間、進行役を務めさせていただきます。どうぞよろ  
しくお願い申し上げます。

本日の会議につきましては、お手元の審議会次第に従い進行させていただきます  
と思いますので、ご協力の程よろしく願いいたします。

本日、委員さんは24名全員ご出席いただいております。会議規則に照らしま  
して、会議の定足数に達し、成立しておりますことをご報告申し上げます。

ここで、配布資料の確認をさせていただきます。

表に会議次第がございます。

その次に資料1と書いております、河南町総合計画審議会条例、これが1枚で  
ございます。

次に、資料2と書いております、本審議会委員名簿、これが1枚でございます。

次に、資料3としまして、スケジュール、これが1枚でございます。

その次に、住民アンケート調査報告書、この冊子が1冊でございます。

その次に、タウンミーティング開催報告書、これが1枚でございます。

その次に、河南町小学生子ども議会開催報告書、これが40ページのものでござ  
います。

その次に、河南町中学生フォーラム開催報告書、これが34ページものになっ  
ております。

これが本日お配りさせていただいております資料でございます。

もし資料に漏れ等ございましたら、お申し出いただきたいと存じます。漏れ等ございませんか。

それでは、まず審議会を始めるにあたりまして、武田町長からあらためましてごあいさつを申し上げます。よろしくお願いいたします。

#### －町長あいさつ－

武田町長： みなさん、おはようございます。武田勝玄でございます。会場が狭くございます。次回より考慮したいと思います。

本日、委員の皆様にはお忙しいところ、ご出席をいただきありがとうございます。また、先程は委嘱を快くお受けいただきまして、重ねてお礼を申し上げます。

今回、新しい総合計画策定のため、いろいろとご審議をいただきたく審議会を開催していただいたわけでございます。本町では、平成13年3月に“みどりと文化 活気あふれる健康のまち”を将来像といたしまして、第三次総合計画を策定し、現在この計画を主として各種行政施策を推進させていただいております。第三次総合計画の基本計画の目標年度は平成22年度となっており、それが間近となっております。地方分権の流れの中、全国の市町村では平成の大合併といわれる大きな動きがございました。3,300程ございました市町村が今は1,800弱ということにあいなっております。

本町におきましても、平成の大合併のスタート時におきまして、周辺4市町村の合併協議が進められましたが、合併に至らず、以来自立の道を歩んでいます。また、昨年秋には、9月15日にリーマンブラザーズの破綻により、10年に一度と言われる世界的な経済危機あるいは金融危機となり、経済の建て直し急務の課題となっております。

市町村におきましては、大規模災害に対応した、災害時に強い安全・安心のまちづくり推進、少子高齢化、地方分権及び行財政改革の推進など、新たな行政課題が前に立ちはだかつております。

これらの課題に対応して、総合的で計画的な行政運営の指針となる新たな総合計画の策定が必要であり、本日、総合計画審議会に諮問をさせていただきました。委員の皆様の活発なご議論により、河南町のまちづくりの基本となる新しい総合計画ができますようお願いいたします。簡単ですがご挨拶とさせていただきます。本当に本日はありがとうございます。

#### －委員紹介－

事務局大橋： この審議会は、資料1にございますように、河南町総合計画審議会条例に基づいて設置させていただいています。第3条の「組織」に書いてありますが、町議会から5名、学識経験者から3名、各種団体から13名、一般公募で2名、町職員1名の合計24名の委員構成となっております。  
それでは各委員より自己紹介をお願いいたします。

(各委員より自己紹介)

事務局大橋： ありがとうございます。続きまして、事務局のご紹介をさせていただきます。

(事務局より自己紹介)

事務局大橋： それでは続きまして、河南町総合計画審議会条例第6条により会長・副会長の選出に移りたいと思います。

会長・副会長の選出は、委員の互選によるとなっております。選出の方法についていかがさせていただきましたらよろしいでしょうか。ご意見を賜りたいと存じます。

廣谷委員： 慣例にしたがって決めてはどうでしょうか。

事務局大橋： 他に無いでしょうか。

今“慣例にしたがって”というご意見を賜りました。今回第4回目の総合計画となるわけですが、過去、大阪芸術大学の先生に会長を、という慣例が続いております。そのような形でお願いしてよろしいでしょうか。

(異議なしの声あり)

事務局大橋： それでは、大阪芸術大学の寺西先生に会長をお願いしたいと思います。

(異議なしの声と拍手)

寺西会長： 不慣れではありますが、精一杯頑張りたいと思います。どうぞよろしく願いいたします。

事務局大橋： 次に副会長の選任になりますが、何かご意見はありますか。

内田委員： ご出席の顔ぶれを見せていただきましたが、住民代表として区長会会長の筧委員がご適任かと存じます。ご推薦いたします。

事務局大橋： ただいま内田委員から、筧委員に副会長をと、ご意見賜りました。他にご意見ありませんか。無いようでしたら、ここで賛否をいただきたいと存じ

ます。区長会会長の寛委員を副会長に、ということでご異議ありませんでしょうか。

(異議なしの声あり)

(拍手)

事務局大橋： それでは、会長、副会長、こちらのほうへ。

会長、副会長が選出されましたので御二方からご挨拶を頂戴したいところですが、代表いたしまして会長よりご就任のご挨拶をお願いいたします。

寺西会長： 会長にご推薦いただきました大阪芸術大学の寺西でございます。不慣れでございますが、寛副会長様のお力添えをいただき、また、皆様の絶大なるご協力をお願いいたしまして、円滑な審議会運営を図り、実りある成果を得られるように精一杯努力するつもりです。ご協力、よろしくお願いいたします。

(拍手)

－総合計画について諮問－

事務局大橋： それではここで町長のほうから審議会へ諮問をさせていただきたいと存じます。

武田町長： (諮問文朗読)

河南企第50号

平成21年5月26日

河南町総合計画審議会

会長 寺西 剛 様

河南町長 武田 勝 玄

河南町第四次総合計画について (諮問)

河南町総合計画審議会条例第2条の規定に基づき、河南町第四次総合計画について、貴審議会の意見を求めます。

どうぞよろしくお願いいたします。

事務局大橋： ただいま町長から諮問をいただきました。この諮問文の写しを皆様にお配りさせていただきますと存じます。よろしくお願いいたします。

事務局大橋： 町長は公務が重なってございますので、ここで退席させていただきます。よろしくお願いいたします。

(町長退席)

事務局大橋： それではお手元に諮問文が届いたと思います。この後、審議会の進行を寺西会長にお願いいたします。よろしくお願いいたします。

寺西会長： ただいま、当審議会に町長から河南町第四次総合計画案について諮問をお受けしました。当審議会といたしまして、重要な審議を委ねられたものと考えます。

今後、委員の皆様方の英知を結集して慎重に審議を重ねて参りたいと思います。なお、本審議会の審議については、情報公開の見地から原則として公開とし、傍聴を認めることにいたしたいと思います。また、審議会の結果、要旨、議事録についてですが、発言者の名前、発言内容について公開させていただいてよろしいでしょうか。

(異議なしの声あり)

寺西会長： ご意義ございませんようですので、そのように進めさせていただきます。それでは、これまでの経過、今後の審議会開催スケジュール等について事務局から説明をお願いしたいと思います。

事務局森田： それでは説明させていただきます。資料3がございますが、これをお開きいただきたいと思います。ここに河南町新総合計画策定スケジュールを示していますが、左側の項目で、議会、総合計画審議会がございます。そして、総合計画委員会、専門部会ですが、これは庁内組織でございます。次に、住民アンケート、住民懇談会、パブリックコメントという項目に分類しております。総合計画審議会でございますが、本日が第1回目であり、今後11月位を目処に審議会の答申をいただければというスケジュール案でございます。議会は、12月議会という予定でございます。

これまでの経過は、平成19年度から準備作業を進めており、平成19年度の1月から2月にかけて住民アンケート調査を実施しています。2,000人の方を抽出いたしまして実施しました。この調査結果については、後程説明したいと思います。それから20年度に入りまして、住民懇談会ということで、平成20年11月にタウンミーティングという形で5つの小学校区と全体1回の計6回開催いたしました。開催結果の要旨につきましては、配布しました資料の中にA4両面でお示ししておりますので、後程ご覧いただければと思います。続いて、小学校子ども議会、中学生フォーラムとありますが、今年の2月にそれぞれ実施しております。この報告書については、本日資料として冊子にてお示ししておりますので、ご覧いただければと思います。現段階での事務作業としてこのあたりまで進んでいます。今後、町内部で基本構想案、基本計画について各分野で計画を煮詰めまして、提案させていただきたいと考えています。次回の審議会には、大まかなも

のが提案できればと考えておりますのでよろしくお願いします。

総合計画審議会でございますが、計6回の開催を予算化しております。あくまでも予算化でございますので、6回で策定しなければならないというわけではありません。多くなる場合もあれば少なくなる場合もございますので、6回でおさめなければならないというわけではございません。総合計画審議会は、月1回程度の開催をお願いしたいと考えておりますので、よろしくお願いいたします。以上で、今までの経過についてのご説明とさせていただきたいと思っております。

寺西会長： 何か質問がありますか。

林 委員： 新総合計画を策定するにあたり、現在進行中の総合計画の10年の総括をどうするのか。

事務局森田： 現在の第三次総合計画は、平成13年から22年の計画です。次の計画は予定では平成22年度からのスタートを考えています。前倒し1年となり、平成22年から32年までの11年間を考えています。今、おっしゃっていただいたように、第三次総合計画がどのようになっているのか、第三次総合計画は現在進行中であり、あと僅かですが期間が残っております。現在までの進捗、成果等の状況については、次回の審議会までにまとめていきたいと考えています。それを土台としまして次の新しい総合計画を、ということです。

寺西会長： 他にご意見ありますでしょうか。ございませんようですので、次に住民アンケートについて事務局より説明をお願いしたいと思います。

事務局森田： 本日の資料で、住民アンケートの報告書ということでお配りしております。アンケート調査の結果については、広報かなんの平成20年12月号に概略について掲載しました。これはあくまでも概要ですので細かい点については、紙面の都合上掲載できなかった部分もありますが、今回、報告書というかたちで示させていただきます。本日は住民アンケート調査の報告書に基づいて説明させていただきますので、よろしくお願いいたします。

まず、報告書の1ページの2番といたしまして調査対象者とありますが、このアンケート調査は、16歳以上の方から2,000人を無作為に選びまして実施しております。調査期間は、平成20年の2月1日から12日にかけて郵便で送付いたしまして、郵便で回収するという調査方法で行っております。回収結果ですが、2,000の方に送付し906人から回答をいただきました。回収率は45.3%となっています。内容については23問の設問があり、報告書の57ページ以降にアンケート調査票を掲載しております。23問ということで多岐にわたっておりますので、本日は概略を説明させていただきます。

報告書の3ページですが、問2といたしまして“河南町が住みよいところだと思いますか”の設問がありますが、「住みよい」と「どちらかといえば住みよい」と回答された方が476人、52.5%で約半分以上の方が住みよいと感じてお

られると結果が出ております。逆に、「住みにくい」と「どちらかといえば住みにくい」と回答された方は、256人、28.3%となっており、ほぼ4分の1強の方が河南町は住みにくいと感じているという結果になっております。約2割の方は「どちらとも言えない」と答えています。

次に4ページですが問3で「住みよい」または「どちらかといえば住みよい」と答えた方に聞いていますが、“河南町が住みよい感じる理由について”の設問では、476人のうち、「自然環境に恵まれている」と答えた方が409人、自然というのが大きなキーワードとなっており、85.9%となっています。次「生活環境がよい」が249人、52.3%、「地域の人の気心が知れているから」が192人、40.3%という結果になっています。逆に問4では、「住みにくい」もしくは「どちらかといえば住みにくい」と答えた方256人に聞いていますが、“河南町が住みにくいと感じる理由について”の設問では、「交通が不便」と答えた方が252人、98.4%であり交通の問題が大きくクローズアップされています。次に「買物などの日常生活が不便」が202人、78.9%とほぼ8割が、住みにくいという理由のひとつに「交通、日常生活の不便さ」を挙げられています。

次に17ページで満足度調査として、現在の満足度を聞いています。内容は、「都市基盤」、「保健・福祉・医療」、「教育・文化」、「産業・経済」、「住民生活・環境など」の項目について聞いています。グラフでは、それぞれ細かい項目となっています。図の下に満足度の計算式が掲載されていますが、ゼロから上になるほど満足度が高く、下になるほど満足度が低いということになります。これで見ますと、満足度が高い項目では「道路の整備状況」、「上・下水道の整備状況」、「公共施設のバリアフリー化」、「文化施設の整備状況」、「スポーツ施設の整備状況」、「文化・スポーツ事業、イベントなどの実施状況」、「文化財の保護と活用」、「ごみ減量化・資源化の取り組み」となっています。こういったところで住民の方々が満足しているというアンケート結果です。

次に18ページからでございますが、各項目別で現在の満足度を聞いています。「都市基盤」でございますが、「上下水道の整備状況」では「満足」、「やや満足」が35.1%で、3分の1強の方が満足と答えています。次に「道路の整備状況」では「満足」、「やや満足」が31.1%で満足と答えています。「都市基盤」では、この2つの項目で満足度が高くなっています。逆に、整備が不足していると思っておられる項目では、「災害時の避難場所の整備状況」、「災害時の防災・救援対策」が高く、整備が必要であると答えています。19ページでは保健・福祉・医療について聞いていますが、この中では、満足度が高いのは「保健・福祉施設の整備状況」が一番であり26.9%の方が「満足」または「やや満足」と答えておられます。逆に満足度が低いのは、「障がい者（児）福祉施策の実施状況」、「子育て支援施策の実施状況」、「介護保険など高齢者への支援」などとなって

います。次に、20 ページでは教育・文化についてお聞しております。満足度が高いのは「スポーツ施設の整備状況」が一番であり 25.8%となっており、約4分の1の方が満足と答えておられます。次いで、「文化施設の整備状況」、「文化・スポーツ事業、イベントなどの実施状況」で高くなっています。逆に低いのは、「青少年健全育成のための取り組み」、「国際化の推進」、「学校教育における心の教育への取り組み」で満足度が低い結果となっています。21 ページでは産業・経済についての質問でございます。この項目では満足あるいはやや満足と答えた方が相対的に少なくなっています。わからないと答えた方が半分強おられ、これは農林業などでは地域的な偏りが出ているようです。この中で満足度が高いのは「農業生産基盤（農道・水路など）の整備状況」10.5%となっています。22 ページでは住民生活・環境などについて聞いていますが、満足度が高いのは「ごみ減量化・資源化の取り組み」が一番であり 37.6%となっています。

次いで、24 ページは先程の満足度の項目で、今後どの分野で力を入れてまちづくりを進めるのが良いかという設問です。この中では、満足度が低い項目で力を入れてほしいという結果が出ています。このグラフは、人数で示していますが、この中で「道路の整備」、「災害時の防災・救援対策」、「介護保険など高齢者支援施策の充実」、「福祉・医療費助成などの充実」、「学校教育における心の教育」、「雇用就労対策」、「防犯対策の充実」、「消防・救急対策の充実」で多くなっており、力を入れる必要があると考えられています。回答の少ない項目では、「公共施設のバリアフリー化」、「障がい者（児）福祉施策の充実」、「文化施設の整備」、「スポーツ施設の整備」、「文化・スポーツ事業、イベントなどの充実」、「文化財の保護と活用」、「国際化の推進」、「コミュニティ拠点の施設整備」、「地域におけるコミュニティ活動の推進」となっています。この結果、住民の皆さんにおかれましては、建物と言いますかハコモノについては、ほぼ満足されているという結果であろうと考えられます。

次に一番最後で、「河南町といえば〇〇！」という設問をしております。これは「河南町といえば〇〇！」の〇〇にご記入いただき、河南町のイメージをお聞きするものですが、結果については42 ページから45 ページに掲載しています。ほとんどの方が書いてくださり、多くの回答がありましたが、河南町としての特徴のあるイメージが少ないという結果となっています。この中では、自然、歴史、交通、子育て、福祉、田舎が多い項目となっています。自然、田舎の言葉が多くなっています。自然という言葉が出てきますと、すべて同じ項目でまとめております。また、「自然と歴史」という場合、「自然」「歴史」それぞれにカウントしております。

お最後に、47 ページから自由意見では、906 人のうち、約 380 人から何らかの回答をいただきました。このうち、180 程度を今回報告書の中で抜粋して掲載



しています。文面的に個人的なことを書いてあるものなどは若干割愛させていただきます。報告書のまとめ方としまして、「将来像」、「社会福祉」、「保健・医療」、「防犯・安全」、「環境・衛生」、「コミュニティ」、「教育」、「文化・芸術」、「スポーツ」、「道路・交通」、「市街地整備等」、「農林業」、「商工業」、「自然・歴史的風土」、「景観」、「住民参加」、「行政」、「まちづくり」と分類しています。大きな分類ですので他の表現が入っていることもあります。ご了承願いたいと思います。一人の方で多くの意見をいただいたケースもありますので、これについては分解して掲載していますのでご了承いただきたいと思います。文面のつながり上割愛できないものなどは他の項目に載っていることもありますので、ご了承いただきたいと思います。自由意見については住民さんのご意見でありますので、改めてご一読いただきたいと思います。

最後に、先程も申し上げましたが 57 ページ以降に調査票原文を掲載しております。時間の都合ですべてを報告できませんでしたが、図表などカラーでわかりやすくしておりますので、ご覧いただけたらと思います。17 ページは印刷の関係でやや薄くなっておりますが、ご了承願いたいと思います。以上で説明を終わらせていただきます。

寺西会長： かなりのボリュームですが、これを参考にさせていただいて次の計画に活かしていただきたいと思います。これについて、何かご意見ございますでしょうか。

寛副会長： 行政側はこのアンケートで満足しているのでしょうか。というのも、アンケートの回収率が 50%に満たないが、低いのではないか。また、アンケートの中でも下水道についての項目などでは、石川地区では下水道整備済みだが、ランダムにして回答者が地区に寄ってしまうと、数字があてにならないのではないか。

事務局森田： 一点目の回答率の問題ですが、回収した 906 人、45.3%であり、低いのは事実です。郵送では 6 割位が一般的な数値でございます。私どもでは何人抽出するか検討する際に、コンサルからも聞きまして、人口規模から 1,000 人の抽出、500 人くらいの回収で十分ということでしたが、町としてはやはり 1,000 人くらいの回答を得たいと思い、2,000 人を抽出しました。結果については、ほぼ使える数値であると考えています。それと、地域別の割り振りについては、人口規模に応じて抽出しました。人口の多いところは多く抽出し、少ないところは少なく抽出しています。率としては 12%くらいと、全地区同じような抽出率です。下水道の満足度については、整備地区で高くなっています。地区別の個別データは内部的に持っており、分析はしていきます。

寺西会長： 他に何かありますか。

小山委員： 審議会の委員の構成についてですが、安心・安全のまちづくり、防災・防犯という観点から、抜けているのではないのでしょうか。委員が今 24 名ということで、空きがありますので、そういう方の人選を加えていただけないのでしょうか。

寛副会長： 私は、区長会会長とともに防犯委員会の会長も兼任しています。現在、富田林警察と連絡をとりながら情報収集等、勉強中であります。

事務局大橋： 今、副会長のほうから勉強中というご意見をいただきました。小山委員がおっしゃったのは防災・防犯・救急全般についてということで、この案件については、現段階ではお預かりさせていただくということでよろしいでしょうか。

寺西会長： その他の意見は何かありますか。

本日は貴重なご意見を頂戴いたしました。次回以降の日程について決めたいと思います。

事務局森田： 今後3回程度の日程を決めさせていただけたらと思っております。7月6日の週に第2回の開催を、と思っておりますがいかがでしょうか。

予定では第2、3回目に概ねの基本構想的な案の提示をしたいと考えております。それ以降は基本計画の個別的なものを一挙に、もしくは個別に提示していきたいと考えております。おおまかな人口の推移などは第2回、第3回で出したい。会議の時間は2時間程度を考えています。また回数は、6回と言いましたが、増えることも考えられますので了承をお願いしたい。

林委員： 進め方については、今後10年間のものを個別にまとめていくかたちになるのでしょうか。たとえば企業などでは長期はともかく中期で数値目標のかたちでやっているのですけども。

事務局森田： 総合計画は町の上位計画であり、その下に個別計画があります。総合計画は10年計画であり、10年の中で前期、中期、後期の概ね3年スパンで実施計画を定めていくこととなります。個別の数値目標については総合計画の中で定めるのは難しいです。数値目標については個別の分野ごとに個別計画の中で提示することとなります。個別計画は30以上あります。

瀧委員： ビジョンを示すことになるでしょうか。

事務局森田： 総合計画は、ビジョンを示すものです。総合計画の基本的な方向に基づいて、目標数値を含めて個別計画を定めることとなります。

林委員： どんなまちにしていくかという、まちづくりのイメージをアンケートの中から考えていくのですか。

事務局森田： アンケート調査結果はひとつの材料であり、国や社会経済の動きなどすべてをミックスして策定していくこととなります。まちづくりを進めていくには住民パワーと財政との両輪を見る必要があります。

林委員： 町独自でできること、府や国の援助を受けてすること、事業のすべてですか。

事務局森田： まちで取り組むすべての事業が対象であり、府、国に関連する事業も包含されます。

柴田委員： できれば、第三次の総合計画の内容を示していただき、審議してはどうでしょうか。

戎谷委員： 第3次の達成度はどうなっているのでしょうか。

寛副会長： 中間報告的なものはありますか。

事務局森田： 第三次総合計画の達成度、検証は今進めております。早い段階でお示ししたい。今現在の河南町の現況と課題については、統計データなどまとめておりますので、次回審議会には提示できると思います。もし早く出来上がれば審議会開催日前に送付したい。第三次の実績についても出来上がり次第各委員に提示していきたいと考えています。現在の総合計画（冊子）をお持ちでない方には本日用意しておりますのでお渡ししたい。

寺西会長： 内容がかなり膨大であるので分科会を開催して審議してはどうか。

事務局大橋： ここで委員に、一からすべて議論していただいて、文言ひとつずつ作るという作業をしていただくのは時間的にとても出来ません。コンサルタントの力を借りて、内容のたたき台については我々で提案しますので、これにご意見をいただくことを考えています。よろしくお願いします。

#### －審議会日程について－

（調整により第2回は7月 9日（木）午後1時30分から

第3回は8月 5日（水）午後1時30分から

第4回は8月28日（金）午後1時30分からの開催に決定）

#### －閉 会－

寺西会長： 本日は、長時間にわたり審議いただきありがとうございました。

これで第1回河南町総合計画審議会を閉会します。